

平成29年度施設経営に係る基本的な考え方（年度計画）

1 ビジョン

当法人は、地域の人々のニーズに応じてサービスを提供するにあたって、人間の尊厳と自己実現を理念として、年齢、性別、障害の有無に関係なく、誰もが、暮らしやすく、住みよい地域社会において、継続して通常の生活が自立できるよう支援するとともに、地域福祉の進展に寄与し、地域福祉の拠点組織となることを目指します。

2 法人の経営・運営に関する理念

(1) 理念

わたくしたちの願い

- 一、 わたくしたちは、二十一世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展と多様な福祉文化の創出に積極的な役割を果たします。
- 一、 わたくしたちは、利用者が住み慣れた地域での生活が続けられるよう、共に支え共に生きる地域福祉のまちづくりに寄与します。
- 一、 わたくしたちは、利用者が尊厳をもって、自分らしく自立した生活が送れるよう、保健、医療と福祉を総合した支援に努めます。
- 一、 わたくしたちは、利用者個人の尊厳が守られるよう、利用者の自己実現と選択を尊重し、利用者本位のサービス提供を目指します。
- 一、 わたくしたちは、地域に開かれた経営とサービスの質の向上に努め、利用者やご家族が満足される価値ある正吉福祉社会を創ります。

(2) 事業と施設等の目的

- ① 当法人が経営する事業と施設等は、21世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展に貢献するとともに、多様な福祉文化の創出に寄与することを目指します。
- ② 当法人が経営する事業と施設等は、日常生活圏域における地域住民の多様化する新たな地域ニーズに対応して、必要な地域密着型サービス等の地域ネットワークとバックアップ体制づくりに努め、身近なところで、「だれにでも、必要なとき、必要なサービス」を迅速に、包括的かつ継続的に提供し、地域の人びとが、

安心してその住み慣れた地域で継続して生活ができるよう「共に支え共に生きる」地域福祉のまちづくりの創成に寄与することを目指します。

- ③ 当法人が経営する事業と施設等は、利用者の QOL (Quality of Life 生活の質) と生活機能の維持または向上を目標とし、利用者の自己実現と自由なる選択を尊重して、利用者本位のサービス提供に努め、これにより、利用者が、尊厳を持って、自分らしく、自立した日常の地域生活が送れるよう、利用者を支援することを目指します。
- ④ 当法人が経営する事業と施設等は、地域に広く開かれた経営とサービスの質の継続的改善に努め、職員重視とともに、利用者やご家族そして地域住民が満足される価値あるサービスの創造と提供を目指します。
- ⑤ 当法人が経営する事業と施設等は、21 世紀の新たなニーズの進展に対応して、介護予防等の予防サービスを拡充し、可能なかぎり問題の発生やその深刻化を防ぐ等ウェルビーイング (Well Being 健幸) の先進的展開を目指します。

3 理念を具現化するための方策

当法人が経営する施設は、利用者の QOL と生活機能の維持・向上を目標とし、利用者の自己実現と自由なる選択を尊重して、利用者本位のサービス提供と利用者が尊厳をもって、自分らしく自立した生活が送れるよう支援します。また、地域に広く開かれた経営とサービスの質の継続的改善により、利用者や家族そして地域住民が満足される価値あるサービスの創造と提供を目指します。さらに、包括的地域福祉推進のため、施設の専門的人材や機能等を地域に提供し、地域ニーズに応じて包括的な在宅サービスを展開します。

私たち職員は、利用者はじめすべての人々を尊重し思いやりをもって感謝の心で接します。また、情熱と向上心をもってサービスの質と技術をみがき、何事にも果敢に挑戦し続けます。そして、利用者や家族、地域住民の皆さまとの心のふれあいを大切にして、利用者の「喜び」と「笑顔」に出会うため、職員一人ひとりが自ら考え自発的に行動します。

法人の第 11 期中期経営計画の第 3 ステージとなる平成 29 年度は、ひきつづき地域と共につくる 24 時間 365 日の安心な暮らしの実現「トータルケアリビング」のため地域包括ケアシステムを推進し、在宅復帰支援と在宅維持支援（病院からの退院時の在宅復帰と在宅生活の継続）を「介護力向上」と「多職種連携」「施設・事業・部門総合力」をもって実践していきます。

法人の経営

(1) 施設整備

- ① 「(仮称) コーシャハイム千歳船橋サービス付高齢者向け住宅」の事業開始
- ② こまめ拠点サービス付高齢者向け住宅の整備
- ③ 既存施設の大規模修繕及び建替えの検討と計画策定
- ④ 既存施設の地震及び水害の災害拠点としての機能強化

(2) ガバナンスの確立

- ① 組織統治機能の強化
- ② 会計監査人の設置による財務会計に係るチェック体制の整備

(3) コンプライアンスの徹底

- ① コンプライアンス推進委員会の常設
- ② 各規程や業務要領書の見直し整備と、内部監査強化による組織管理及び業務管理体制の確立

(4) 人材確保・育成と定着

- ① 採用基準と採用チャネルの見直し及び拡大
- ② 各拠点の定着に向けた取り組み
- ③ 多様な働き方と仕事と子育て・介護の両立支援
- ④ 専門職のキャリアラダーの仕組みと教育プログラムの策定
- ⑤ 次世代リーダーの育成

(5) 地域包括ケアシステムの推進

- ① シームレスなサービス提供
- ② 地域における公益的な取り組みの推進

(6) 新たなサービスの創造

- ① 「保険外サービス」と「混合介護」の検討、実施

(7) 尊厳ある介護と衛生的かつ快適な生活環境の整備

- ① 生活者としての自立の支援
- ② 5Sの徹底

(8) 最高の品質追求による「正吉」ブランドの強化

(9) ICT活用による業務の効率化と介護サービスの向上

(10) 事業継続計画の見直しと訓練の実施

(11) 健全経営の推進

- ① 健全な財務規律の確立
- ② 費用の適正化・効率化

施設の経営

(1) サービス方針

① 地域包括ケアシステムの推進

地域包括支援センターによる総合相談や包括的ケアマネジメント機能を強化しながら、住民参加型の独自の介護予防事業を実施していきます。また、高齢者住宅等に相談員を配置し地域の一人暮らし、高齢世帯等の見守りや交流サロン、24時間365日の相談及び生活支援サービスを実施していきます。

② 自立支援ケアの実施

理学療法士、作業療法士による個別機能訓練と多職種連携によりQOLの向上を目指した自立を支援します。特に排泄の自立支援については、全施設で取り組みます。

③ 看取りの介護の実施(認知症ケアと重度化への対応)

心理学、福祉・医療の学識経験者の指導のもとで、重度化した要介護高齢者への対応を行っています。多職種連携のケアで、最後まで安らかな心で生活できるよう支援します。

④ 在宅支援型施設(在宅・入所相互利用の実施)

要介護状態になっても、住みなれた地域で暮らし続けることを支援するため、在宅・入所相互利用を実施し、在宅と施設の継続したケアマネジメントにより、

居宅生活をバックアップします。

⑤ 生活文化の創造

当法人の経営する施設での暮らしは、茶道、陶芸等日本の文化や芸術を生活にとり入れています。豊かな心で生活ができるよう、地域住民の皆様とともに生活文化を創ります。

⑥ 安全と安心の生活支援

人的な介護事故をなくし、介護事故の予防策を講じるとともに、感染症等リスクマネジメントを構築していきます。また、快適な生活環境の整備と生活における利用者の尊厳・プライバシーの保護を徹底します。

⑦ 地域拠点機能強化

各施設がこれまで以上に地域住民参加型の介護拠点となるために、ボランティアの確保と育成支援などの機能を強化していきます。

⑧ 24時間365日の在宅支援

巡回型訪問介護とオンコールによる随時対応の実施により24時間365日、在宅生活を支援していきます。

⑨ 認知症高齢者の支援

大学病院との連携など、これまでの若年性認知症に対する取り組みなどを踏まえて、認知症の早期発見、早期治療などの予防に努めると共に、認知症を発症した方に地域の中で住み続け、在宅での看取りが可能となるような支援の充実・強化を図ります。